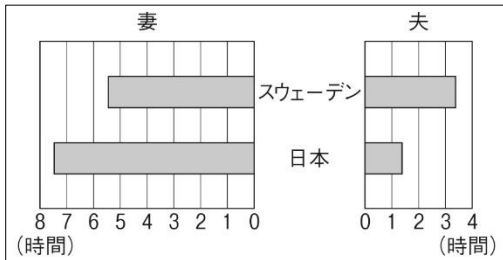
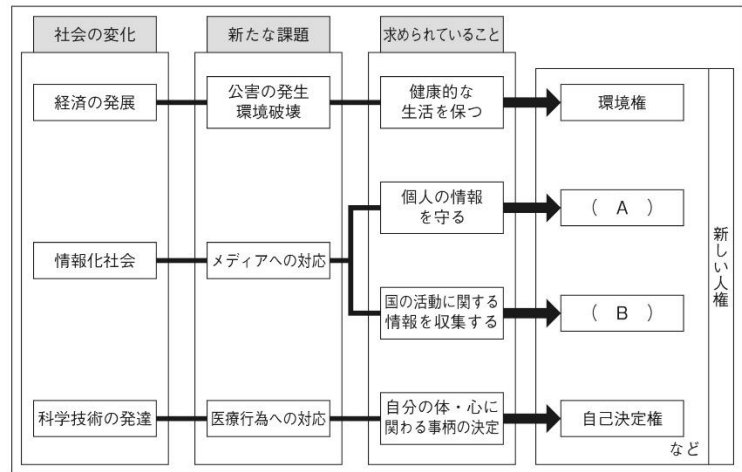


**問題**

資料1 6歳未満の子供を持つ夫・妻の1日当たりの育児時間



資料3 新しい人権に関する図



資料2



- ① 憲法による人権の保障は、特に外国人や障がいをもった人など、社会的に弱い立場に置かれる人々にとってより大切である。その理由を書きなさい。
- ② 資料1から分かる、日本における育児面での課題を書きなさい。また、その解決のためにどのようなことが必要と考えられるか、1つ具体的に書きなさい。
- ③ 次のア〜クをそれぞれ、精神の自由、身体の自由、経済活動の自由のどれにあてはまるか分類し、記号で答えなさい。  
 ア：学問の自由      イ：職業選択の自由      ウ：信教の自由      エ：奴隷的拘束・苦役からの自由  
 オ：表現の自由      カ：自白の強要の禁止      キ：財産権の保障      ク：居住・移転の自由
- ④ 資料2は、労働基本権（労働三権）のうち、どの権利をあらわしたものか、書きなさい。
- ⑤ 労働基本権（労働三権）が保障されているのは、労働者がどのような立場にあるからか、簡単に書きなさい。
- ⑥ 新しい人権について、資料3中のAとBにあてはまる権利をそれぞれ書きなさい。
- ⑦ なぜ「新しい人権」は憲法に明確に規定されていないのか、その理由を、資料3を参考にして書きなさい。

①	<b>(例) 弱い立場の人々が、差別や不利益の解決を国や社会に求める場合に、憲法の規定が主張の支えになるから。</b>			
②	課題	<b>(例) (スウェーデンと比べて) 妻の育児時間が多くて夫の育児時間がとても少ないので、妻の負担が大きいこと。</b>		
	解決	<b>(例) 男性が育児休暇を取りやすい環境を整備する。/ 保育所の整備を進めること。      など</b>		
③	精神	ア、ウ、オ (順不同)	身体	エ、カ (順不同)
			経済活動	イ、キ、ク (順不同)
④	<b>団体行動権</b>			
⑤	<b>(例) 労働者は使用者（雇用主）に対して弱い立場にあるから。</b>			
⑥	A	<b>プライバシーの権利</b>	B	<b>知る権利</b>
⑦	<b>(例) 新しい人権は、経済や科学技術の発達、情報化社会の進展などによって日本国憲法制定時には予想できなかった問題が生じ、それに対応するために生まれた権利だから。</b>			